



第23-51号

2024年2月22日

## 海老名市×小田急電鉄 住みたい住み続けたいまちの実現に向けて 「包括連携に関する協定」を締結

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2024年2月22日（木）に海老名市（市長：内野 優）と、防災や保健福祉、教育等の市民サービスの一層の向上と地域産業や文化等の活性化をはじめとする連携項目を通じ、積極的な地域連携を図ることにより、「住みたい住み続けたいまち 海老名」を実現するため、包括連携に関する協定を締結しました。



調印式の様子

(左：内野市長 右：星野社長)

当社は、子育て世代に寄り添う取り組みに注力しながら、地域の特色にあわせた施策を通じて、持続可能性を念頭におき、人流の拡大と地域活性化を通じた企業成長を志向しています。また、小田急小田原線のおよそ中央に位置する海老名市では、「住みたい 住み続けたいまち 海老名」の実現に向け、人口減少社会におけるこれからのまちづくりにおいて、拠点となる区域の整備や環境負荷をはじめ多様な課題への対応等により、まちの持続的発展を目指しています。

2023年2月、当社が本社機能の一部を海老名市内へと移転したことを契機に、従来からの両者の連携は一層深まり、今回の協定締結に至りました。

今後は、駅周辺開発やインフラ整備の促進によるまちづくりをはじめ、複合施設「ビナガーデンズ・パーク」等の既存施設での連携を含む各種教育施設の誘致、事業の連携に加え、海老名駅隣接「ロマンスカーミュージアム」での学習体験等、さまざまな領域において資源やノウハウを有効活用し、地域活性化への連携を深めていきます。また、当社が有する廃棄物の分別回収業務の効率化から循環型社会の形成を目指す仕組みや、自治会・町内会を活性化するための仕組みの導入を検討いただくことで、地域・環境面での持続可能性向上にも貢献したいと考えます。

今回締結する協定の概要は、下記のとおりです。

## 記

- 1 締結日 2024年2月22日(木)
- 2 連携目的 防災や保健福祉、教育等の市民サービスの一層の向上と地域産業や文化等の活性化をはじめとする連携項目を通じ、積極的な地域連携を図ることにより、「住みたい 住み続けたいまち 海老名」を実現するため

### 3 取組概要

No.	連携事項	主な事業
1	地域の安全・安心・快適なまちづくりに関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駅周辺開発および周辺インフラの整備促進</li><li>・ 自由通路、中央公園等を活用した事業等の実施</li></ul>
2	環境、資源循環に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駅周辺の賑わいを創出するイベントの実施やデジタルサイネージ等を活用した事業PR</li></ul>
3	地域産業の振興および支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域産業情報の提供および共有</li></ul>
4	子育て支援、障がい者支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子育て情報や健康推進等に関するチラシ等の配布・配架</li><li>・ 子育て支援事業の実施</li></ul>
5	健康増進、疾病予防に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 健康推進事業との連携等</li></ul>
6	高齢者支援、生きがい増進に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 認知症等行方不明者の情報共有</li><li>・ 認知症事業に関するチラシ等の配布・配架</li></ul>
7	児童・青少年の健全育成に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ロマンسカーミュージアムでの学習体験の実施</li><li>・ ビナガーデンズ・パーチ等既存施設での連携を含む各種教育施設の誘致および事業の連携</li></ul>
8	SDGsに関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ SDGs事業の実施</li></ul>
9	その他DX施策に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自治会活動への技術協力</li></ul>
10	文化・スポーツ振興に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市イベント等におけるブース等の出店等</li></ul>

以上